

様式

技術名称	炭素繊維複合材ケーブル CFCC®	技術の分類	材料	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	CBK-130003-VE CBK-130004-A										
会社名等	東京製綱インターナショナル(株)	担当者	CFCC 事業部 田中	連絡先	TEL 03-6366-7731										
技術の概要	従来の鉄筋コンクリート構造物は、塩害地域において腐食等耐久性が課題となり維持管理に多大な労力とコスト要してきた。しかしこの炭素繊維複合材ケーブルCFCCを補強材や緊張材に使用することにより、長期にわたり腐食しない構造物が実現可能となるので耐久性の優れた港湾インフラ作りが期待できる。			対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 国土交通省職員 <input checked="" type="checkbox"/> 港湾管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 一般(施工業者・コンサルタント等含む)										
				添付資料	パンフの有無	有									
					その他の資料	パワーポイントで説明									
技術の特徴	CFCCの主な機能およびこれを適用することで得られる利点としては、例えば以下のものがある。			その他	CFCCを用いて構造物を設計・施工・検査・維持管理する際には、コンクリートライブラリー88「連続繊維補強材を用いたコンクリート構造物の設計施工指針」に従うものとする。  CFCCの適用に際し、土木学会コンクリートライブラリー88に記載のない事柄については、依頼者が提供する技術資料あるいは設計・施工マニュアル等の記載内容に従わなければならない。										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>特長</th> <th>CFCC の特性を活かした用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高耐食</td> <td>港湾分野において 50 年を超えるような長期供用される構造物全般</td> </tr> <tr> <td>軽量</td> <td>鋼材と比べ軽さが 1/5 のため重機が使用できない環境での施工</td> </tr> <tr> <td>高強度</td> <td>鋼材より細くできる可能性があり、過密鉄筋で施工が困難な用途</td> </tr> <tr> <td>非磁性</td> <td>わずかな磁気でセンサーに障害がでる事を避けたい構造物への適用</td> </tr> <tr> <td>切削性</td> <td>TBM の発進立坑のようにコンクリートをはつときに刃物の損傷を避けたい用途</td> </tr> </tbody> </table> <p>本材料は、 「沿岸技術センター 港湾関連民間技術の確認審査・評価 第18005号」を取得している。</p>					特長	CFCC の特性を活かした用途	高耐食	港湾分野において 50 年を超えるような長期供用される構造物全般	軽量	鋼材と比べ軽さが 1/5 のため重機が使用できない環境での施工	高強度	鋼材より細くできる可能性があり、過密鉄筋で施工が困難な用途	非磁性	わずかな磁気でセンサーに障害がでる事を避けたい構造物への適用
特長	CFCC の特性を活かした用途														
高耐食	港湾分野において 50 年を超えるような長期供用される構造物全般														
軽量	鋼材と比べ軽さが 1/5 のため重機が使用できない環境での施工														
高強度	鋼材より細くできる可能性があり、過密鉄筋で施工が困難な用途														
非磁性	わずかな磁気でセンサーに障害がでる事を避けたい構造物への適用														
切削性	TBM の発進立坑のようにコンクリートをはつときに刃物の損傷を避けたい用途														

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。